

1 日本に自生していた野菜と新しく入ってきた野菜

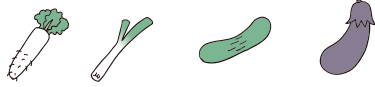
●日本の古来からの野菜

昔から日本に自生していた野菜の多くはなく、今では山菜と言われる品種がほとんどです。在来野菜は20種類だとされています。
ウド、オカヒジキ、山椒(サンショ)、自然薯(ジネンジョ)、じゅん菜、苳(セリ)、蓼(タデ)、つる菜、浜防風(ハマボウフ)、菱(ヒシ)、蕎(フキ)、松菜、三つ葉、茗荷(ミョウガ)、白藍(ハクラン)、ユリ、山葵(ワサビ)、牛蒡前(ゴボウアザミ)、枸杞(クコ)など



●外来種(主な野菜)

縄文から平安時代...だいこん、さといも、ねぎ、きゅうり、なす等



江戸時代...ばれいしょ、キャベツ、ほうれんそう、トマト等



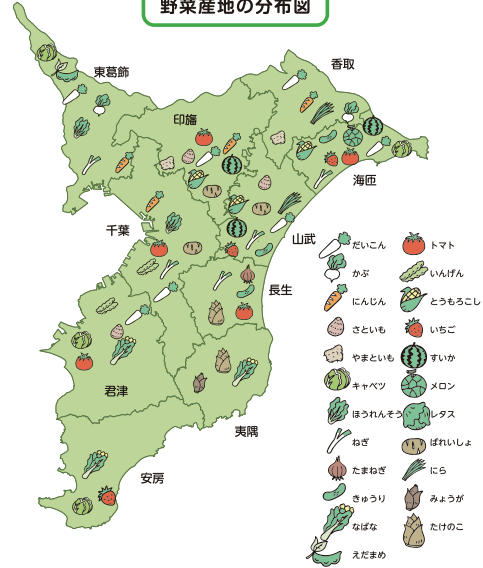
明治時代以降...にんじん(西洋種)、はくさい、レタス(結球種)、たまねぎ、ピーマン等



伝統野菜について HP

2 千葉県内で栽培されている野菜の種類と産地の分布

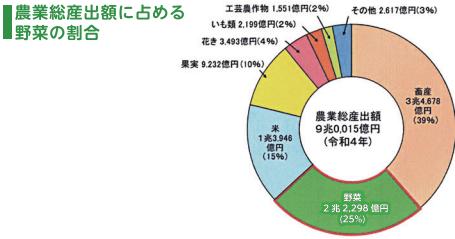
野菜産地の分布図



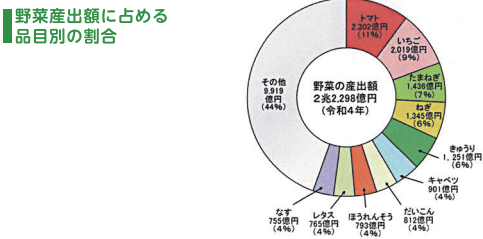
千葉県産と農産 千葉県 HP

3 我が国の農業における野菜の位置づけ

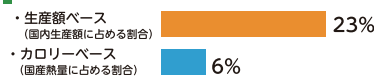
農業総産出額に占める野菜の割合



野菜産出額に占める品別の割合



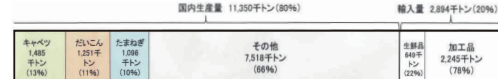
食糧自給率への寄与率(令和4年)



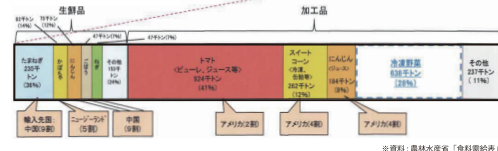
※野菜をめぐる情勢 令和6年5月 農林水産省

4 我が国における野菜の国内供給と野菜の輸入量の現状

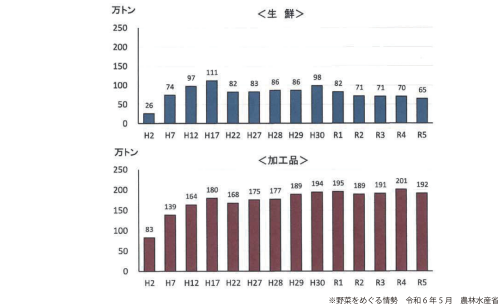
【野菜の国内供給状況(令和3年)】



【うち、輸入野菜の供給内訳(令和3年)】



【野菜の輸入量の推移(生鮮・加工品)】



※野菜をめぐる情勢 令和6年5月 農林水産省